ITS-TEA

ITS Technology Enhancement Association

道路の先にひろがる未来

ITS-TEA

一般財団法人 ITSサービス高度化機構

https://www.its-tea.or.jp

〒102-0083　東京都千代田区麹町5丁目1番地 麹町弘済ビルディング3階
TEL.03-5216-3813(代)　FAX.03-5216-3815

ETC/ETC2.0の普及に取り組み効率的な道路利用に貢献

一般財団法人ITSサービス高度化機構(ITS-TEA:ITS Technology Enhancement Association)は、高度道路交通システムサービス(ITSサービス)の発展にセキュリティ面から貢献しています。ETC/ETC2.0で培ったセキュリティ技術や制度、運用などの実績を活かし、新たなITSサービスの創出と展開に寄与します。

ITS－TEA の事業内容

ETC/ETC2.0 を安心してご利用いただくために、
以下のテーマに取り組んでいます。

1 ETC/ETC2.0を安心してご利用いただくために

セキュリティ規格の管理と開示

システムを構成するETCカード、車載器、路側機のセキュリティ処理の共通ルールを記載したセキュリティ規格書を管理し、守秘義務契約を締結した関係事業者に開示します。

識別処理情報等の発行

■ ETC鍵情報
システムでの相互認証、データ認証、暗号化等のセキュリティ処理のため、ETCカード、車載器、路側機向けにそれぞれ鍵情報を生成し、提供します。

■ ETCセットアップ情報
ETC/ETC2.0車載器の活性化のために必要なセットアップ情報を提供します。

■ 新セキュリティ移行の推進
ETC/ETC2.0のシステムを安心してご利用いただくために新セキュリティへの移行を進めています。

2 ETC/ETC2.0の普及促進

■ セットアップ店網の構築・管理
セットアップ店網を全国に整備し、車載器の購入からセットアップまで、ETCをスムーズに利用開始できる環境を整えています。

■ ETC/ETC2.0に関する広報・お問い合わせ対応等
ETC2.0の利便性を広く周知するとともに、お問い合わせ窓口を設置し、ETC/ETC2.0に関するお問い合わせに対応しています。
また、ETC総合情報ポータルサイトを運営するとともに、ETC/ETC2.0ガイドブックの作成・配布を行っています。
さらに、ETC/ETC2.0に関係する事業者や研究者等への情報提供を目的として、「ETC便覧」を発行しています。

3 ETC/ETC2.0技術の高度化・標準化

■ ETC/ETC2.0における相互接続性試験の管理運営
関係する企業・団体と連携し、相互接続性試験等の管理運営を行っています。

■ ETC/ETC2.0に関係する技術・運用の高度化・標準化
ETCの運用を高度化するため等の調査研究を行うとともに、標準化活動にも参画しています。

4 新たなITSサービスへの対応

安全運転支援システムや自動走行システムなど、新たなITSサービスが開発・展開される中、これまで培ってきたセキュリティプラットフォームの運営実績を活かし、ITSのさらなる発展と社会への貢献を推進します。

ETC/ETC2.0 を支える運用体制

私たちは、有料道路事業者や ETC/ETC2.0 関連事業者とともにご利用者にとって
より安全で便利なサービスを安心して使っていただける環境づくりを行っています。



数字は2026年3月現在

ETC2.0で道路をより安全、快適に

ETCの発展形であるETC2.0は、料金収受システムによる高速道路のスムーズな料金決済だけでなく、道路交通情報（VICS※1）受信機能を有し渋滞回避情報の提供や災害避難経路指示、落下物警告等、安全で快適なドライブを支援します。さらに、プローブ情報※2は災害対策や交通安全対策などの道路政策に活用され、より良い日本の未来づくりに貢献します。

※1：VICS：Vehicle Information and Communication System
※2：プローブ情報とは、車載器により記録された走行履歴と挙動履歴等の情報です。



人とクルマと道路の未来を
次世代ITSサービスが支えます

国内でITSサービスの普及・実用化が推進されてから四半世紀を迎えます。ETCの開発やカーナビゲーションシステムの高度化など、人々の暮らしや社会を豊かにする数々のシステムの普及に取り組んでまいりました。ITSサービスは今後も進化を続け、自動運転技術の支援や持続可能なモビリティの実現など、未来の社会課題の解決に貢献します。

STAGE 1

ITSサービスの実用化を推進、基盤整備

1995年

UTMS（新交通システム）開発・整備

1995年

ARTS（次世代道路交通システム）の推進

1996年

ITS推進に関する全体構想（9つのテーマ）

1996年、産官学民協力のもと国家プロジェクトとして全体構想の開発・実用化を策定。

- ナビゲーションシステムの高度化
- 自動料金収受システム
- 安全運転の支援
- 交通管理の最適化
- 道路管理の効率化
- 公共交通の支援
- 商用車の効率化
- 歩行者等の支援
- 緊急車両の運行支援

1996年

VICS情報提供の開始

2001年

ETC運用開始



STAGE 2

ITSサービスの普及と推進の指針策定

2004年

ITS推進の指針

日本ITS推進会議で「安全・安心」「環境・効率」「快適・利便」を基本理念にITS推進の指針を策定。

①安全・安心な社会の実現
- 交通事故の削減

②環境に優しく効率的な社会の実現
- 環境負荷の軽減
- 渋滞損失の削減

③利便性が高く快適な社会の実現
- 移動に伴うストレスを削減
- 地域社会の活性化

2014年

ETC2.0運用開始



2015年

ITS総合戦略2015の策定

VICS WIDEサービス開始

ITS-connectサービス開始

STAGE 3

次世代ITSサービスが社会課題を解決

2025年～

ADAS※（先進運転支援システム）の普及と高度化

※Advanced driver-assistance systems

2030年



自動運転時代を見据えた次世代のITSの実装

自動運転レベル4の普及

持続可能なモビリティの実現

ITSサービス長期ビジョン2030
～次世代ITSサービスと持続可能なモビリティの実現に向けて～

■ 自動運転技術を支える V2Xのセキュアな通信に貢献

ITS-TEA は ETC の鍵情報やセットアップ情報の発行などのセキュリティプラットフォームを提供してきました。自動運転技術を支える路車間通信（V2I）や車車間通信（V2V）、V2X（Vehicle to Everything）にセキュアなプラットフォームの提供を目指し、次世代 ITS 推進をサポートします。

■ SDGsとETC2.0

スムーズな料金収受と道路情報等の収集を担う ETC2.0 と次世代の ITS は、効率的なエネルギー活用やインフラ整備、産業振興、快適な移動環境づくりに貢献しています。次世代 ITS サービスでは SDGs の 9 つのテーマへの拡大を目指します。

ITS-TEA ITS Technology Enhancement Association

ITS-TEAの概要

組織概要

本機構は平成11年9月にETCに関する情報安全確保規格の提供、識別処理情報の付与に関する業務を中心に財団法人道路システム高度化機構(ORSE)として発足しました。

ETCの普及拡大とともに道路交通に不可欠な社会インフラシステムのセキュリティプラットフォームを担う財団法人として発展してまいりました。

平成26年9月に一般社団法人ITSサービス推進機構(ISPA)と合併し、DSRC(ETC2.0)に関する情報安全確保規格の提供、識別処理情報の付与に関する業務も追加しました。同時に一般財団法人ITSサービス高度化機構(ITS−TEA)に名称変更しました。

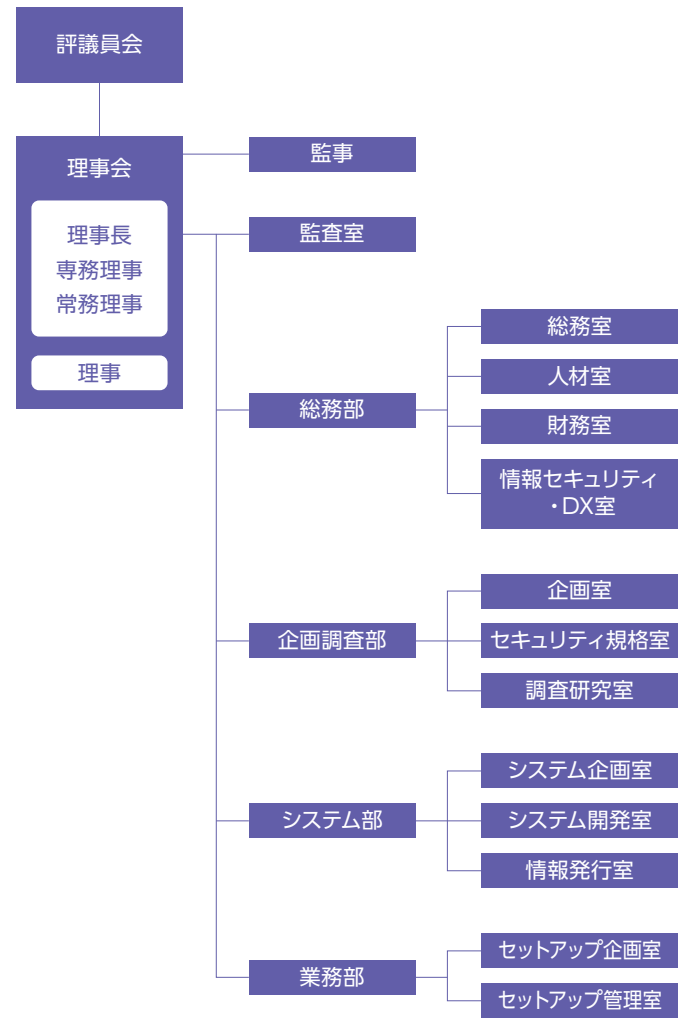
名　　称：一般財団法人 ITS サービス高度化機構
所 在 地：〒102-0083
東京都千代田区麹町 5 丁目 1 番地 麹町弘済ビルディング 3 階
T　E　L：03−5216−3813 (代)
F　A　X：03−5216−3815
ホームページ：https://www.its-tea.or.jp/

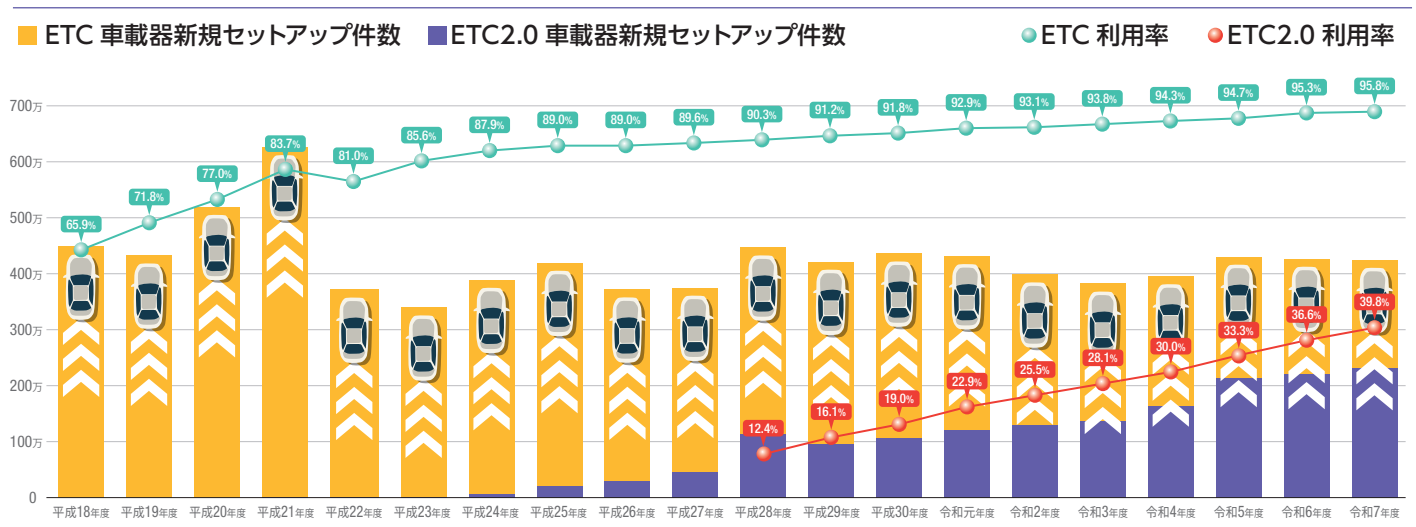
本機構の歩み

平成13年	3月	一部の地区でETCサービス開始
	7月	三大都市圏 (関東、中部、関西) にサービス拡大
	11月	全国にサービス拡大
平成15年	6月	ETC車載器セットアップ累計件数100万件超
平成17年	1月	ETC車載器セットアップ累計件数500万件超
	12月	ETC車載器セットアップ累計件数1,000万件超
平成26年	9月	一般社団法人ITSサービス推進機構(ISPA)と合併、 一般財団法人ITSサービス高度化機構(ITS-TEA)に名称変更
平成27年	7月	ETC2.0車載器セットアップ開始
令和2年	9月	ETC車載器セットアップ累計件数1億件超
令和8年	4月	ETC車載器セットアップ累計件数1億3,500万件超 ITS-TEA 現住所に移転

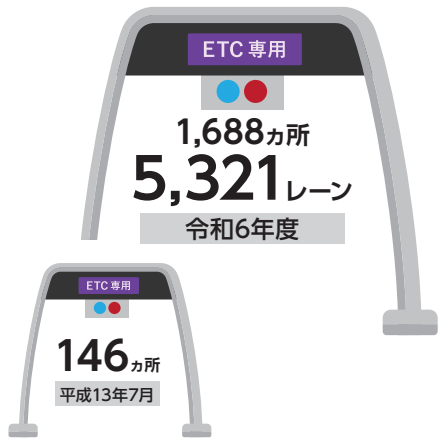
(上記ETC車載器セットアップ累計件数は、ETC車載器及びETC2.0車載器の新規セットアップ／再セットアップ件数の累計です。)

組織図



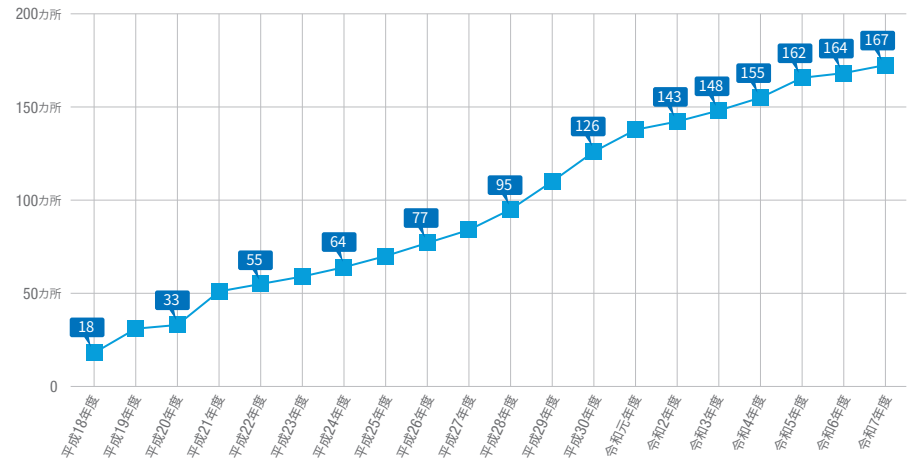


料金所のETCレーンの数 (箇所)



※高速道路会社6社と指定都市高速道路公社3社の合計

スマートインターの整備状況 (開通済箇所数)



セットアップ事業者数/登録店状況 (令和8年3月末現在)

セットアップ事業者数

258 (前年▲5)

セットアップ登録店舗数

32,513 (前年 +333)

四輪	ETC/ETC2.0：	29,271 (+290)
	うち ETC のみ：	492 (▲149)
二輪	ETC/ETC2.0：	2,298 (+1)
	うち ETC のみ：	2 (▲3)
併用	ETC/ETC2.0：	944 (+42)
	うち ETC のみ：	6 (▲1)

ETC2.0取扱店舗数

32,013 (前年 +486)

ETC の主な導入効果

利便性・快適性向上・交通の効率化

現金支払いの煩雑さ、料金収受員との接触が無くなり料金所通過時間の短縮、キャッシュレス化が実現され、利便性・快適性が大幅に向上しました。料金所渋滞の解消により、交通の効率化が図られています。

環境負荷軽減

料金所渋滞の軽減・解消や円滑な交通の流れにより車両からの排出ガス(CO_2等)の削減や燃料節約が可能となり、料金所周辺環境はもちろんのこと、環境負荷軽減に寄与しています。

コスト削減と新たなサービス

ETC の導入により従来の現金による料金収受に比べて料金収受コストの低減が図られました。また、ETC ではETC カードによる後払いのキャッシュレス課金が行われるため、利用者ニーズや環境対策等に対応した様々な料金設定が可能となり、時間帯割引や環境ロードプライシング割引等の各種料金が導入されています。